お客さまへ

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。（火災・感電・落下の原因）	禁止	器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。（火災・感電の原因）
	器具やランプを布や紙などで覆わない。（可燃物をかぶせて使うと火災の原因）		

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士などの資格が必要です。（火災・感電の原因）	禁止	ランプは落としたり、（物を）ぶつけたり、無理な力を加えない。（ランプが破損してけがの原因）
禁止	ランプに塗料などを塗らない。（ランプが過熱・破損してけがの原因）	厳守	明るく安全にご使用いただくために6ケ月に1回の保守点検を行う。
禁止	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。（過熱して火災の原因）		

点検

■6ヶ月に1回外観及び機能（非常点灯持続時間と切替動作）の点検を行う。［消防庁告示第3号と第14号］

■消防法では点検結果を所轄の消防署に報告することが義務づけられています。［消防法施行規則第31条］

■24時間以上充電後、キセノンランプ点滅・非常点灯持続時間は20分間、誘導音は60分間以下となったら蓄電池を交換する。

ランプについて

「ランプについて」

○暗い所で放置すると、周囲が暗い状態（数ルクス以下）では点灯しにくい場合がありますが、周囲を明るくすれば点灯します。

○周囲温度が5℃以下の場合、ランプの輝度、寿命が著しく低下します。

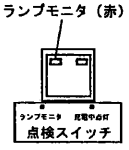
○多灯用のランプを交換するときは、全てのランプを一斉に交換してください。

「ランプモニタ」について

ランプモニタ（赤）

赤色のランプモニタは「ランプの寿命」をお知らせするものです。

ランプの累積点灯時間が 40,000 時間（ランプの寿命は約 40,000 時間です）に達すると赤色に点灯しますので、新しいランプと交換してください



適合ランプ　CF220T4EN-M

⚠注意

○点灯中及び消灯直後のランプや器具には触らない。（高温のためやけどの原因）

○ランプはランプホルダーに確実に取付ける。（取付けが不完全な場合落下の原因）

○使用済みのランプは不用意に割らない。（ガラスが飛散してけがの原因）

○ランプの電線を引っ張らない。（ランプ破損の原因）

○ランプ線は反射板の外側に押し込む。（表示面に影の発生する原因）

⚠警告

器具・ランプを水洗いしない。（火災・感電の原因）

蓄電池の交換　⚠警告　電源を切ってから行う。（感電の原因）

器具形名	KYH2721	KYH4722
蓄電池（蛍光灯用）	4N06DA	4N12DD
蓄電池（ｷｾﾉﾝﾗﾝﾌﾟ用）	3N25DA	3N25DA
蓄電池（誘導音用）	12N05DA	12N05DA

○蓄電池の交換は指定のものを使用してください。

⚠警告

蓄電池はショート・分解・加圧・変形させない。また、火中に入れない。（やけどや衣類損傷の原因）

○使用済みの蓄電池は環境保全と資源再利用のため、下記回収処理業者へお問い合わせください。

問い合わせ先

日本ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ㈱　本社　☎06(6311)9071

東邦亜鉛㈱　本社　☎03(3272)5657

関西触媒化学㈱　東京営業所　☎03(3246)0606

異常時の処置

⚠警告

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合は、すぐに電源を切る。煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。（火災・感電の原因）

連絡先　三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船 2-14-40
☎(0467)41-2728（施設照明営業課）
☎(0467)41-2773（品質保証部サービス課）

E766Z787H51

MITSUBISHI

三菱点滅形誘導音付加避難口誘導灯

［キセノン点滅・誘導音付加形・蓄電池内蔵形］

形名　ＫＹＨ２７２１（B級BL形・片面灯）

ＫＹＨ４７２２（B級BH形・片面灯）

取扱説明書

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

保管用

施工者さまへ

○施工の前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。

○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告 ⚠注意 の表示で区分して説明しています。表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。	必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	引火する危険のある雰囲気で使わない。（ｶﾞｿﾘﾝ・可燃性ｽﾌﾟﾚｰ・ｼﾝﾅｰ・ﾗｯｶｰ・可燃性粉じんのある所で使わない。（火災の原因）	禁止	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。（絶縁破壊により感電・火災の原因）
禁止	器具取付けの際は電線を挟まない。（絶縁不良により感電・火災の原因）	厳守	施工は電気設備の技術基準・内線規程に従い行う。

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	高温（35℃以上）、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所で使わない。（落下・感電・火災の原因）	禁止	雨水のかかる場所で使わない。（水気・湿気が入り感電の原因）
禁止	さびの出やすい場所、腐食性ｶﾞｽの出る場所で使わない。（劣化による落下の原因）	禁止	表示された電源電圧以外では使わない。（火災・感電の原因）
禁止	器具は乾燥不十分なｸﾛｽ貼り・ｺﾝｸﾘｰﾄ面には取付けない。（絶縁不良やさびにより感電・落下の原因）	禁止	器具のﾉｯｸｱｳﾄを外す場合はﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ等により電線を傷つけない。（絶縁不良により感電・火災の原因）
禁止	風呂場など水や湿気の多い場所で使わない。（火災・感電の原因）	禁止	狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。（器具が過熱して火災の原因）

お願い

■器具の周辺温度が 5 ～ 35 ℃の範囲で使用してください。

■インバータ器具の場合は、電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。

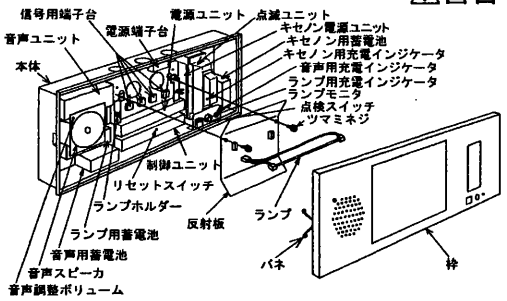
■直射日光や、空調機器等の排気口・温風吹出口付近の取付けはお避けください。（蓄電池の寿命が低下することがあります。）

定格

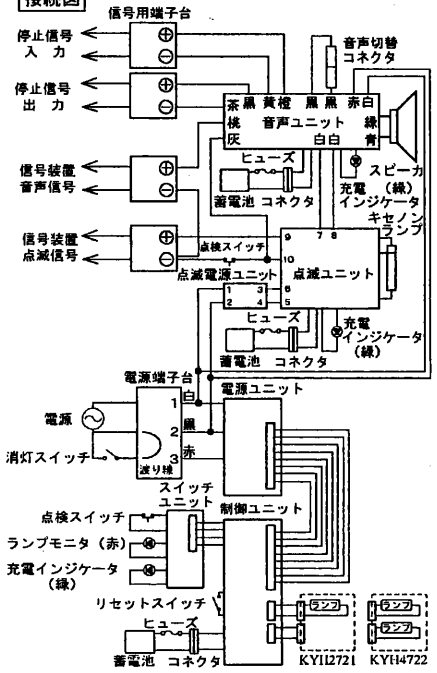
摘要	常時		非常時 停電時		非常時 火災信号受信時	
	KYH2721	KYH4722	KYH2721	KYH4722	KYH2721／KYH4722	
使用ランプ	CF220T4EN-M		CF220T4EN-M		キセノンランプ	誘導音
	1灯	2灯	1灯	2灯	1灯	
定格電圧	AC100V		密閉形 Ni-Cd蓄電池 4.8V 600mAh	密閉形 Ni-Cd蓄電池 4.8V 1200mAh	密閉形 Ni-Cd蓄電池 3.6V 2500mAh	密閉形 Ni-Cd蓄電池 12V 500mAh
入力電流	0.19A	0.25A				
入力電力	8.0W	12.5W				
定格周波数	50／60Hz					

各部のなまえと取付けかた

⚠警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う。（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）



接続図



1 取付前の確認

○器具質量(5.1kg)に十分耐えるよう取付部の強度を確保する。

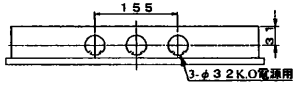
⚠警告

器具の取付けは質量に耐える所に取付ける。
（落下の原因）

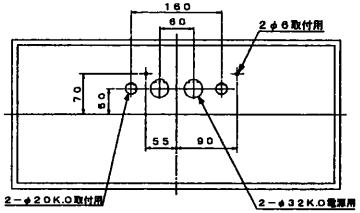
2 壁に埋込穴をあける。

(1)埋込穴を設ける。
○埋込ボックス　BOX2091(別売)を使用して取付ける。

○下図の寸法を参考にして取付ける



○下図の寸法を参考にして取付ける



＜埋込ボックスを使わない場合＞

⚠警告

取付けが不完全な場合落下の原因

3 器具本体を取付ける。

(1)枠を本体から引き出しバネを押し縮めバネ受けから外す
(2)ランプと反射板を外す。
(3)使用する電源穴・取付穴のノックアウトを外す。
(4)電源穴に付属のコードブッシュをはめ込む。
(5)電源線・アース線を器具本体のブッシュ付電源穴から引き込んでおく。
(6)器具本体を確実に取付ける。

4 電源線を電源端子台に接続する。

(1)電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。
(2)アース線を差し込み穴に確実に差し込む。
＜D種(第3種)接地工事が必要です。
○電源端子台の送り容量は20Aです。
○適合電線：φ 1.6 mm単線　φ 2.0 mm単線

⚠警告

アース工事は電気設備の技術基準に従い行う。
（アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因）
接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因

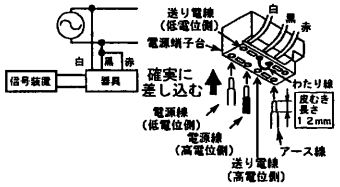
⚠警告

送り配線は誘導灯専用とし、負荷容量を確認して接続する。
（負荷容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因）

⚠警告

電源の接続は適合太さの電源線を指定長さに被覆をむき、1本ずつ速結端子の奥まで差し込む。
（差し込み不十分は接触不良により火災の原因）

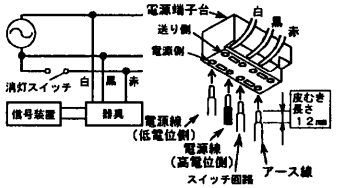
＜単相2線2線式・常時消灯しない場合＞



⚠警告

分電盤と電源端子台の間には消灯スイッチを設けない。

＜単相2線3線式・常時消灯する場合＞



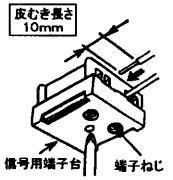
○電源線接続の速結端子の電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを、はずし穴にまっすぐに差し込んでください。
○常時消灯する場合は所轄の消防署の了解を得る必要があります。
○誘導灯消灯システム使用の場合は信号装置取扱説明書を参照してください。

5 信号線を信号用端子台に接続する。

(1)信号用端子台の端子ねじをゆるめ、信号線を極性に注意して確実に差し込んで端子ねじを締め付ける。
○適合電線：φ 2.0 mm以下

⚠注意

接続が不完全な場合、動作不良の原因となります。

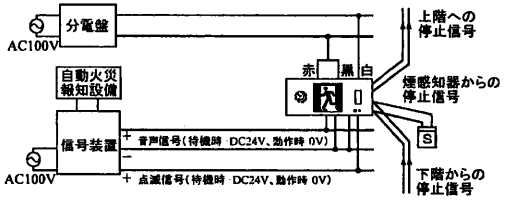


⚠警告

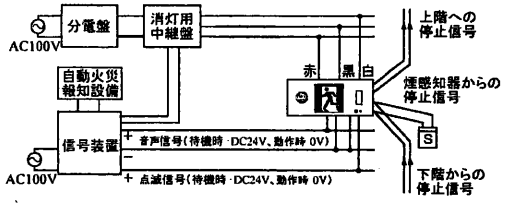
信号用端子台には電源線を接続しない。
（過熱・損傷し火災の原因）

○信号装置からの音声点滅信号入力･･･DC24V
○停止信号入力･･･下層階からの信号入力、煙感知器からの信号入力
○停止信号出力･･･上層階への信号出力

A. 全館一斉に動作させる場合の例



B. 消灯させる場合の例



○信号装置の詳細は、個別の取扱説明書をご覧ください。

6 蓄電池のコネクタを接続する。

(1)コネクタを確実に接続する。
○通電しないで蓄電池のコネクタを接続したまま放置すると、蓄電池が過放電します。
○使用開始まで時間がある場合は、消灯するまで放電させ後、蓄電池のコネクタを外してください。

7 反射板を取付ける。

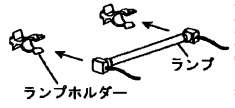
(1)ツマミネジで反射板を取付ける。

8 ランプを確実に取付ける。

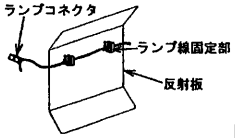
(1)ランプをランプホルダーに取付ける。

⚠注意

ランプは両端を持って脱着する。
（ランプ破損の原因）



(2)ランプコネクタを接続する。
(3)ランプ線を反射板のランプ線固定部に通す。
(4)あまったランプ線は反射板の外側に押し込む。

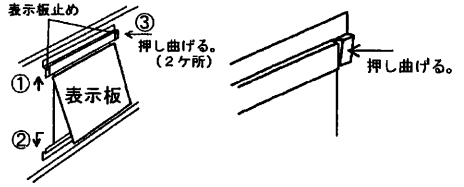


⚠注意

配線の固定を確実に行う。
（表示面に影の発生する原因）

9 表示板を取付ける。

(1)表示板を枠の上下の金具に入れる。
(2)表示板止めを押し曲げる。



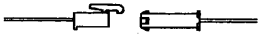
10 枠を取付ける。

(1)バネを押し縮め、バネ受けに引かける。
(2)枠全体を静かに押し付ける。

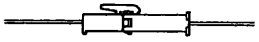
⚠警告

取付けが不完全の場合落下の原因

誘導音について
○誘導音は音量調整(70dB～90dB)ができます。
○誘導音は日本語と日本語/英語の切替えができます。
音声コネクタ開放時
日本語のみ：ピンポン、非常口はこちらです。



音声コネクタ接続時
日本語と英語：ピンポン、非常口はこちらです。
⇕
Here is an emergency exit.



お客さまへ

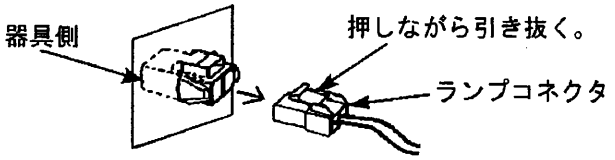
ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

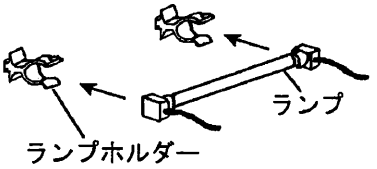
安全のために必ずお守りください

ランプ交換・器具の清掃 — ⚠警告 電源を切ってから行う。(感電の原因)

ランプ交換

(1)枠を引き出し、本体から取り外す。
(2)ランプコネクタを外し、ランプホルダーからランプを外す。
(3)ランプ交換後、ランプホルダーに取付け、ランプコネクタを接続し、必ずリセットスイッチを押す。
(4)枠を本体に取付ける。





点灯検査

次の点灯状態を確認して万一点灯しない場合は、下記項目をチェックしてください。

○通常点灯しない場合
- ランプコネクタは、はずれていませんか。
- 誤配線をしていませんか。
- 電源電圧は定格どおりですか。

○ランプが非常点灯しない場合、キセノンランプが非常点滅しない場合
- 蓄電池とユニットのｺﾈｸﾀは、はずれていませんか。
- ユニット及び蓄電池のヒューズは溶断していませんか。
- 蓄電池は24時間以上充電してありますか。

○充電インジケータ(緑色の表示ランプ)が点灯しない場合
- 電源は通電されていますか。
- 蓄電池とユニットのコネクタは、はずれていませんか。
- ユニット及び蓄電池、ヒューズは溶断していませんか。
- 信号入力がされていないのではないですか。

清掃

○柔らかい布にぬるま湯または石けん水をつけてよく絞ってふきとってください。
○シンナー、ベンジン、磨き粉やたわし、熱湯、化学雑巾などは使用しないでください。

連絡先 三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船 2-14-40
☎(0467)41-2728 (施設照明営業課)
☎(0467)41-2773 (品質保証部サービス課)